



菊池内科ホームページ

<http://www.kikuchi-clinic.com/>

携帯電話対応ホームページ

(for i-mode) <http://www.kikuchi-clinic.com/i/>

(for ez-web) <http://www.kikuchi-clinic.com/ez/>

1頁:「からだ元気科」のご紹介  
:バファリンについて  
2頁:血液検査について(2)  
3頁:私と飛行器

4月19日(木)の夕診は、30分遅れで4時半開始の予定です。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

診療についてのお詫びとお願い

平成13年3月

日	月	火	水	木	金	土
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24

3月17日(土)、19日(月)、21日(水)の診療におきまして、来院患者さんが40名近くとなったため、待ち時間が平常よりかなり長くなり、大変ご迷惑をおかけいたしました。お詫び申し上げます。

いわゆる「飛び石連休」だった上に、定期的に花粉症と風邪の患者さんが急に増えたためと思われま。

当院では、できるだけ時間をかけて診察させていただこうと考えていますので、1回の診療時間に30名以上の患者さんが来られると、結構きびしくなります。

日	月	火	水	木	金	土
4月	23	24	25	26	27	28
29	30	5月1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

現在、一部の患者さんには、あらかじめ診療時間の予約をしていただいております。また、ご都合で、長くお待ちいただけない場合には、できるだけ当日でも来院前にお電話を入れていただくようお願いしております。

将来的には、予約制を基本にしたいと検討しておりますが、ご協力よろしくお願申し上げます。

今回のゴールデンウィークは、2(あるいは3)連休と4連休がありますので、その前後と中間で混雑する可能性があります。お急ぎでない場合は、できるだけこれらの日を避けていただきますよう、お願申し上げます。

当院では、糖尿病・高脂血症・肝臓病などで、定期的に血液検査を受けていただいている患者さんがかなりおられます。あらかじめ必要な検査がわかっている場合、診察前に血液検査をさせていただき、その結果が出てから診察させていただきます。

ところが先日、患者さんを間違えて採血をしてしまうという、事件を起こしてしまいました。確かに似たようなお名前だったのですが、フルネームでお呼びして確認しなかった当方の完全なミスでした。幸いなことにとすると不謹慎ですが、痛い思いをしていただい

ただで済んで不幸中の幸いでした。誠に申し訳ございませんでした。

今後は検査・採血・処置等で待合室からお呼びする場合は、姓名ともお呼びして間違いのないように心がけます。

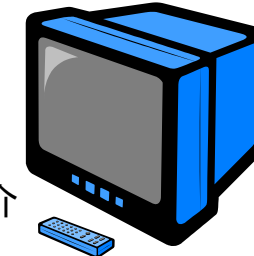
また、「えっ!採血する予定じゃないのに!」など、ご不審な点がありましたら、遠慮なくお申し出頂きますよう、お願いたします。

もうひとつお願です。風邪や腹痛など、体温測定が必要な場合、2月までは、診察室で耳式の体温計で測っていましたが、3月から待合室で診察前に測っていただいております。(時間の節約というよりは、測定の信頼性の問題です。)

したがって、(特に再診の場合)受付で体温測定をお申し出頂きますようお願いいたします。

日本医師会提供の健康番組

「からだ元気科」  
の紹介



毎週金曜日

午前11:00~11:25

(読売テレビ=10チャンネル)

- 4月 6日 タバコと肺がん
- 4月13日 大腸がん
- 4月20日 食物アレルギー
- 4月27日 緑内障
- 5月 4日 小児の発熱
- 5月11日 すい臓がんの免疫療法
- 5月18日 不整脈
- 5月25日 ストレスとうつ病
- 6月 1日 くも膜下出血
- 6月 8日 すい臓がん
- 6月15日 禁煙宣言
- 6月22日 ピロリ菌と胃の病気
- 6月29日 シックハウス症候群

処方薬「バファリン」について



バファリンの成分であるアスピリンには、**血栓の形成をおさえる**作用があり、**狭心症・心筋梗塞・脳梗塞**などの疾患に以前から用いられています。

しかし、その有効性が明らかであるにもかかわらず、健康保険では認可されていませんでした。実際には暗黙の了解のもとに処方していましたが、14日分しか処方できませんでした。

今回、正式に上記目的での処方が可能となり、30日分の処方も可能となりました。同時に商品名が変更となりましたので、お知らせいたします。

小児用バファリン

バファリン81mg錠

バファリン

バファリン330mg錠

ただし、上記目的で処方可能になったのは81mg錠だけで、330mg錠は今まで通り「解熱鎮痛消炎剤」としての保険適用しかありませんので、今まで大人用のバファリンで処方していた患者さんには81mg錠での処方に変更させていただきます。(上記商品名の通り、大人用1錠と小児用4錠がほぼ同量です。)

なお、81mg錠は「解熱鎮痛消炎剤」としては処方できなくなりましたので、ご了解下さい。



## 血液検査について(2)



今回から何回かに分けて、検査成績報告書にそって、血液検査についての説明をします。

今回は「血球検査」です。

血液中には、3種類の「血球」があります。

1. 白血球
2. 赤血球
3. 血小板

### 白血球・白血球像

白血球とは一言で言うと、「ばい菌をやっつける細胞」です。ただし、「ばい菌」には、「細菌」と「ウイルス」があります(真菌=かびもあります)ので、ややこしいです。

一般的に、細菌にかかる(感染する)と、白血球は増え、ウイルスにかかると白血球は減ることが多いです。

ただし、重症の細菌感染の場合は、(特に初期には)白血球が減ることがあります。

この場合、白血球像(好中球・リンパ球などの白血球の種類別の比率)が参考になります。

白血球数が異常に多いあるいは少ない場合、白血病などの血液疾患が疑われます。この場合も、白血球像が役に立ちます。

### 赤血球

肺から酸素を全身に運び、帰りには二酸化炭素を回収してくる働きをします。

これが少ないのが、「貧血」です。まれですが、多すぎる病気に「多血症」があります。

貧血にはいろいろな種類があり、その区別のために、以下の項目が参考になります。

**ヘモグロビン・ヘマトクリット**は、いわゆる「血の濃さ」をあらわします。出血があって、輸血をするかどうかを決めるときなどは、赤血球の数よりもこちらを参考にします。

**M C V**は赤血球の細胞の大きさをあらわします。鉄分が少なくて貧血になる場合、赤血球が小さくなります。

**網状赤血球**は、若い赤血球です。赤血球を作る段階の異常(骨髄の病気など)では、少なくとも、赤血球が壊される病気(溶血性貧血など)では多くなります。

検査項目	単位	基準値
白血球数	白/mm <sup>3</sup>	36~92
赤血球数	万/mm <sup>3</sup>	3500~5000
ヘモグロビン	g/dl	11.0~12.0
ヘマトクリット	%	33.0~40.0
M C V	fL	81~98
M C H	pg	27.0~33.5
M C H C	%	32.0~35.0
網状赤血球数	%	5.0~19.1
血小板数	万/mm <sup>3</sup>	14.0~35.0
全血比重		1.050~1.060
赤沈1時間値	mm/h	0~10以下
赤沈2時間値	mm/2h	0~15以下
血液像		
骨髄球	%	0.0
後骨髄球	%	0.0
好中球	%	36.0~69.0
桿状核球	%	2.0~2.0
分葉核球	%	34.0~60.0
好酸球	%	1.0~5.0
好塩基球	%	0.0~2.0
リンパ球	%	27.0~53.0
異型リンパ球	%	0.0
単球	%	2.0~10.0
赤血球像		
大小不同	%	10.0~13.0
環状型	%	22.0~38.0
奇形	%	70以上
赤芽球	%	70~130
P T	秒	10.0~13.0
A P T T	秒	22.0~38.0
トロンボテスト	%	70以上
ヘパラスチン	%	70~130
フィブリノーゲン	mg/dl	150~400

せきちん

けっちん

**赤沈**(赤血球沈降速度) 昔は「血沈」と言っていました。細いガラスの管に血液を入れて立てておくだけで簡単に検査ができるのですが、今では他に検査があるので、あまり調べなくなりました。炎症がつよい場合などに数字が高くなります。

### 血小板

出血をしたときに止血をする細胞です。その働きがつよすぎると、**血栓**ができやすくなり、脳血栓などの原因になります。(もっとも血小板だけが原因のことは少なく、高血圧症・糖尿病・高脂血症などがもとにある場合が大部分です。)

**血小板減少症**などの特殊な病気が原因で数が少なくなることはありますが、血小板が少ない病気の大部分は、**慢性肝炎**あるいは**肝硬変**です。

以前に肝臓病の話の時に書きましたが、他の血液検査が全く正常でも、血小板が少ない場合は、B型やC型の肝炎ウイルスの検査が必要です。特に10年以上前に輸血を受けたことのある方は要注意です。身内の方に肝臓病のある方や若い頃に肝炎になった(黄疸が出た)ことのある方も一度は検査をしておいた方がいいです。

## ピロリ菌の新しい検査のご紹介

以前にもご紹介しましたが、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の原因になる細菌「ヘリコバクター・ピロリ」の新しい検査を始めました。

「尿素呼気試験」という検査です。ピロリ菌は、尿素を分解してアンモニアを作る酵素「ウレアーゼ」を持っており、それを調べる検査です。

検査は簡単です。写真上の「呼気採取バッグ」に息を吹き込みます。



写真下の検査薬「ユービット」を100ccの水に溶かして飲みます。(ほとんど無味無臭です)

口の中に検査薬が残らないように水で口をすすぎます。

検査薬を胃の広い範囲に行き渡らせるために、5分間、右を下にして横になります。

15分間座っていただきます。

もう一度、新しい「呼気採取バッグ」に息を吹き込みます。

検査薬を飲む前後の2つの呼気採取バッグの内容を比較することによって、ピロリ菌の存在が診断できます。

検査にかかる時間は、上記の通り、約20分で、結果は2,3日で出ます。

検査料は553点(2割負担で1110円、3割負担で1660円)です。

なお、**ピロリ菌の検査は、「胃カメラあるいは胃透視で胃潰瘍あるいは十二指腸潰瘍の診断が確定していること」が保険適用の条件**ですので、残念ながら、最初からこの検査を行うことはできません。胃カメラあるいは胃透視の後、あるいはピロリ菌の治療(除菌療法)を行った後の効果判定として検査を行います。

以前にも書きましたが、初回の検査としては、胃カメラを強くお勧めしています。(ガンを確実に否定するためです)



### 私と飛行器

先月号で書きましたが、私は大学まで四国で過ごしたので、飛行機に乗る機会がなく、はじめて飛行機に乗ったのは24才の時でした。それ以後は結構飛行機に乗る機会があり海外へも2回行きました。それでも飛行機に乗るのにはかなりの決断が必要です。

小学生の頃には模型飛行機をよく作りましたし、理屈では飛行機が飛ぶ原理もわかっているつもりです。ただ紙や木の模型が飛ぶのと違って、いくらエンジンがついていても金属製の機械が何百人もの人間を乗せて何時間も飛ぶというのはいまだに信じにくいのです。

はじめて飛行機を飛ばした人として、アメリカのライト兄弟が知られています。しかし、一人の日本人があと一息のところまで涙をのんでいます。

二宮忠八にのみや ちゆうはちは慶応2年(1866年)伊予・宇和島藩八幡浜町いよ うわしま やわたはま たこ(現在、愛媛県八幡浜市)、つまり先月号で書いた私の故郷で生まれました。子供の頃から凧作りが得意だった彼は、陸軍に衛生兵として入隊しました。

明治22年(1889年)香川県の椋の木峠での野外演習中に、カラスが飛ぶ姿を見て、飛行器の研究を始めました。ゴム動力の模型飛行器を完成し、明治24年(1901年)4月29日、香川県丸亀の練兵場で飛行に成功しています。

彼は人間が乗る設計の模型まで完成させますが、石油発動機(ガソリンエンジン)が高価で入手できず、陸軍の幹部に協力を上申しますが却下され、一旦研究を中止しました。

その後、現在の大日本製薬を発展させ、個人的にも大阪精薬を設立し、「二宮舎利塩」などを販売(現在、マルニ株式会社からエンリッチ塩として販売されています)するなど、薬業界で活躍しました。

経済的に余裕ができて飛行器研究を再開しますが、その矢先、明治36年(1903年)、ライト兄弟がガソリンエンジンによる有人飛行を成功させてしまいました。

外国では、国を挙げて飛行機研究を支援し成功に至りましたが、日本では、優秀な研究者がいたにも関わらず、「前例のないものに協力はできない」と却下されています。忠八がもしアメリカ人であれば、飛行機の実験者として、全世界に知られたにちがひありません。

忠八は故郷、八幡浜をなつかしんで、京都府八幡町(現、八幡市)に住み、航空機事故の犠牲者をまつるために自宅に「飛行神社」をつくりました。昭和11年(1936年)70才で亡くなっています。

模型飛行器の実験が成功した、4月29日に飛行神社では慰霊祭が毎年行われます。また、故郷八幡浜でも関連の行事が行われます。



玉虫型飛行機の模型(愛媛県八幡浜市フェリーターミナルにて)

資料は、二宮忠八資料館(飛行神社内)で頂きました。  
参考図書:「虹の翼」吉村昭 著(文藝春秋刊)



飛行神社は、京阪電車・八幡市駅下車、東南へ徒歩5分  
境内には飛行機のエンジンやプロペラが並んでいます。

京阪・八幡市駅を降りて、ケーブルカーで男山に登ると、石清水八幡宮があります。発明王トーマス・エジソンが白熱電球を1879年に発明していますが、この境内のマダケが電球のフィラメント(光る部分)の材料に適していることを発見し、利用されました。

忠八とエジソン、世界的な発明家の接点が意外にもここにあります。(写真下)エジソン記念碑



愛媛県八幡浜市のホームページ  
<http://www.islands.ne.jp/yawatahama/>

香川県の川田真司さんの忠八に関するホームページ  
<http://www.niji.or.jp/home/kawata-s/tyuuhati/tyuuhati.html>

.....  
.....  
.....

**ゴールデン・ウィークの診療は、「こよみ通り」です。**

.....  
.....  
.....

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9~12							×
午後4~7			×			×	×

菊池内科(内科・消化器科)  
〒581-0003 八尾市本町7-11-18 八尾メディカルアベニュー2F  
電話 0729-90-5820 ファックス 0729-90-5830